

たより



たくさんのご参加、ありがとうございました

所長 岩崎三安子

夏休みが終わりました。補充学習やクラブ活動等でお忙しい中、また大変暑い中、教育研究所主催の教育講演会や研修講座に、たくさんの方にご参加いただきましたこと、厚く御礼申し上げます。また、会場では「とても勉強になりました。」とか「明日からがんばれそうです。」という言葉がたくさんいただき、講座を計画した私たちが元気をもらいました。重ねて、御礼申し上げます。

教育研究所では、この夏17の講座を開催しました。国語や算数・数学といった教科では、講師先生による師範授業をもとに研修を深める形で行いました。より具体的に学ぶことで、「授業でやってみようかな。」という気持ちになっていただければと考えたのです。参加された先生方から、「子どもを指名することや個別に机間巡視することの一つひとつに教師のしかけがあるとわかった。」という声をいただいた時は、具体的な学びが、より深い学びにつながったのだと思い、うれしくなりました。参加希望が大変多い講座でしたので、来年度も師範授業の形をとり入れた講座も計画したいと考えています。

体育や図工、理科の講座は、実技を伴う内容にしました。理論に基づいて体感することで、より深く学んでいただけたらと考えたのです。場所や材料に枠があったため、参加人数を制限する形となってしまったことは、申し訳なく思っています。参加された先生方の満足度が大変高かったため、実技を伴う技能教科の講座も計画していきたいと思えます。

また、特別支援教育・情報教育の講座は、今日的な課題と捉え、毎年開催しているものです。急速に進んでいる領域ですので、できるだけ新しい情報をと考えました。「今まで何となくわかっていたことが、すっきり整理できました。」という参加者の言葉が心に残ります。普段の先生方のご実践がより理論的になることで、日々の教育活動がさらに充実するのだと思えました。

学校経営・学級経営では、教職員のメンタルヘルスや学級集団づくりの講座を開催しました。人権教育と通じる部分も多くあり、子どもも大人も、全ての人が心豊かに生きたいものだと思います。

教育研究所では、これから来年度に向けて講座計画を立てていこうと考えています。先生方のご意見やご希望をとりいれながら計画を立てたいと思えます。10月ごろにアンケートを実施する予定ですので、ご協力よろしくお願ひします。

夏季休業中開催の研修講座報告8



情報教育研究会と下村先生による ICTスキルアップ講座



8月10日(金)と17日(金)に、スキルアップ講座を開催しました。各学校にすでに導入されている情報機器をさらに活用していただくために、情報教育研究会の先生方のご協力のもと、例年開催している講座です。

初日は、書画カメラとプロジェクター、電子黒板の使い方についてです。書画カメラは、小グループで学びます。それぞれのグループでは、情報教育研究会の先生方が講師になって、一人ひとりに丁寧に教えます。

「線の先が色分けしてありますから、心配しなくていいですよ。」

と、講師先生の声。つなぎ方から丁寧に教えてくれます。こんなことって、忙しい現場ではなかなか聞きにくいですよ。困ったなあと思っているうちに、次の授業が始まると、また今度にしようということになって・・・つい情報機器を使うことが後回しになってしまう現実があるのではないのでしょうか。

書画カメラを使って、手元にあるものが大きく映し出されると、それだけで迫力があります。以前に「情報機器の活用が教育を変える」という話を聞いたことがありますが、納得です。細かい操作方法を教えてもらおうと、参加者の皆さんは、ウン、ウン、なるほど。わからないことを気軽に質問できる雰囲気、自然と生まれます。

続いて、電子黒板の使い方です。こちらは、一台しかないの、全体で学びます。簡単な操作方は、一人ずつ実際にやってみながら、学び合います。

17日(金)は、情報教育研究会の先生による簡易電子黒板・情報モラルの話と三重大の下村先生によるスクラッチ(フリーソフト)の使い方についての講座です。

情報モラルの話は、さすがに奥が深い。毎年いろいろな機会に聞くことがありますが、内容が年々バージョンアップしている感じです。情報教育研究会の皆さんは、最新の情報をつかんでいるので、とてもリアルな話をしてくれます。情報氾濫社会をどう生き抜くか、子ども達につけていかねばならない「生きる力」です。

三重大の下村先生は、スクラッチというフリーソフトの使い方を教えてくださいました。

「これ何やるって、ずっと前から思ってたんですよ。」という参加者のつぶやきに同感。実は、校務用PCのデスクトップにある、ネコのアイコンのソフトの使い方だったのです。

ネコが、右に左に移動したり、回転したり。一つ一つの命令を組み合わせることによって、自然なストーリーが出来上がっていきます。一度使ってみてください。



アンケートより

(一部抜粋)

- ・普段ふれているPCなのですが、「使いこなせているか？」と問われると、とても頷くことができません。書画カメラや電子黒板など、準備のことを考えるとついつい「また今度」としてしまっている自分がいます。身近な先生方が講師さんで、初歩的なことも気軽にたずねることができました。丁寧なご指導ありがとうございました。
- ・教室でも使える知恵をたくさん得られてよかったです。画面の切り替えなど、ちょっとしたことで困ることがあったので、とても助かりました。
- ・九月から、ぜひ簡易電子黒板を使ってみようと思います。こわがらずに。目から入る情報なら、クラスの子どもも少しでも長く座って授業に参加できるのではと思います。情報モラルの話は、保護者にも聞いてraitたいと思いました。
- ・ミミオの使い方が分かってよかったです。スクラッチもとても楽しかったです。子ども達といっしょにやってみようと思います。



ジャストスマイル・コラボノート

ICT実技講座

8月21日(火)、明野小学校で行われた講座です。この夏に導入したばかりのPCを使って、ジャストスマイルとコラボノートの活用の仕方を学ぼうという内容です。

初めに、ジャストスマイルの使い方です。小学校では、よく使われているソフトですが、専門の方に教えてもらうと、なるほどと驚くことばかり。そんなこともできたのか・・・と、これまで子ども達に教えてきたことを振り返りました。

続いて、コラボノートの使い方です。離れていても意見交換ができるので、子ども達だけでなく、職員会議等で使えるのではないかと思います。これから活用が期待されるソフトです。

アンケートより

(一部抜粋)

- ・ジャストスマイル5には、様々な機能が入っているのがわかり、全部の学校に早急に導入していただきたいと思いました。時間的に余裕があれば、もう少し詳しく教えていただきたいです。コラボノートは、初めて使用したので、難しかったです。
- ・ジャストスマイルは子どもにまかせてしばらくさわらせてみたいと思いました。自由な発想で何を作り出すか見てみたいと思えるソフトでした。我流で使っていたので、メニューバーに作業の流れが表れていることも知らず、専門的な知識のある方の話を聞くことですっきりしました。コラボノートは、情報共有の機会を多くもてるようなよいソフトだと思います。
- ・ジャストスマイルは、いろいろなことができるとわかりました。今後は「発表」の部分をもっと使えるようにしていきたいです。コラボノートについては、今後もっと個人研修をしていかないとと思いました。



中川一史先生による 情報モラル講座



8月24日(金)、この夏の最後の講座が、放送大学の中川先生による情報モラルに関する教育講演会でした。

携帯電話の所持率は、日々増加している。小学校では4割、中学校では7割、高校ではほぼ10割が所持しているとのこと。ゲーム機器を含めた情報端末の所持率は、おそらく世界一だとも。急速に変化する情報社会の現実に驚きつつ、どこかでそうではないかと危惧している雰囲気会場に流れます。

中川先生が「自主性という名の放任」の話を始めました。子どもに携帯を持たせる時は、親

が何が起きているのかを知ることが大切です、放任を自主性に置き換えてしまっている現実を指摘するのです。ロックをかけることで、子ども達は闇の世界に知らず知らず近づいているのです。小さい頃からの情報機器依存が、問題になってきているとも付け加えられました。

「加害者になっていることの危険性」についての話は衝撃的でした。被害者の報告はたくさんあるけれども、無自覚なまま加害者になっていることがあるというのです。子ども達のメールに「3分間ルール」があって、3分間以内に返事を返さないといじめられるという状況。当然、子ども達は睡眠不足になるし、携帯依存にもなっていく。そのうち誹謗中傷が始まる。一度出た情報は、回収不可能で、どんな手段を使っても止められないというのです。「これくらい大丈夫」というのは、実は大きくて深い落とし穴なんですね。

アンケートより

(一部抜粋)

- ・目にみえないネット社会のことに、動画をみせていただきわかりやすかったです。保護者として、インターネットに関して子どもとどうかかわっていくかは、ネットとしてではなくコミュニケーション力をみがくようにかかわっていくことなのかなと思いました。子どもがネットをしていても、それに目を向けるのが難しいのが現実ですが。
- ・子どもに携帯を持たせるかどうかの判断は保護者であり、親としての責任が大きいと思う。ただ、社会がうつりかわる中、正しい知識をもとに正しい判断ができるように、教育の中できちんと指導していかなければいけないと思いました。しかし、家庭には、パソコンやゲームがあり、小学校で教える時にはすでにネットユーザーになっている。そこが、難しい問題だと思う。
- ・ポイントをしばってお話いただき、理解しやすかったです。情報モラルについて、いただいた資料をもとに指導にあたっていきたいです。